

## 研究報告

- ありし日の大阪観光の姿を求めて  
—大阪時代前後の絵葉書と旅行案内から—  
天野景太（文化資源学専修、准教授）
  - The Social Impact of Youth Subculture in Schools:  
Teaching street dance in compulsory education in Japan  
有國明弘（社会学、International School）
  - 19世紀初頭のドイツにおける労働需要と解放戦争  
—ベルリンの地方紙を手がかりに—  
高岡佐登美（西洋史学、UCRC 研究員）
- ポスター発表

## [ポスター発表 1]

- ・哲学的問題はどのようにして成立するのか  
高野保男（哲学）
- ・排外主義感情とドイツ  
—東ドイツのベトナム人契約労働者（Vertragsarbeiter）を中心に—  
村上遙香（西洋史学）
- ・児童の行動への対応から見える小学校教師の指導観についての考察  
—あるベテラン教師の学級づくり期における事例検討から—  
玉城明子（教育学）
- ・中国「映画小説」理論の再構築  
陳琪榮（中国語中国文学）
- ・差別と排除への抵抗手段としてのラップ・フランセ  
—その成立と表現方法の変遷—  
安彦良紀（フランス語圏言語文化学）
- ・正月の風習から生じた昔話についての日中比較研究—中国編—  
芦珊瑚（表現文化学）

## [ポスター発表 2]

- ・2019年度久津川車塚古墳発掘調査の成果報告  
山崎公輔・吉田芽依（日本史学）
- ・住民／市民運動としての在日権利運動の形成過程  
—京都府宇治市 A 地区を事例に—  
全ウンフィ（社会学、UCRC 研究員）
- ・地域資源としてのアートプロジェクト  
—小豆島・迷路のまちの「妖怪アート」の制作現場から—  
松井恵麻（地理学）
- ・Oliver Twist にみる女性と子供の抑圧  
田中光咲（英語英米文学）
- ・日中仏の「タ」にあるモダリティの比較研究  
蔡一升（フランス語圏言語文化学）
- ・中国近代の心靈學—『東方雑誌』から『靈学叢誌』まで—  
杜一葦（アジア都市文化学）

## [ポスター発表 3]

- ・南宋湖南地域の書院研究についての展望  
金甲鉉（東洋史学）
- ・モラルジレンマ課題における課題文が判断に与える影響  
齊藤直紀（心理学）
- ・近代日本文学における「フェアリー」—妖精像の変遷—  
永井泉（国語国文学）
- ・道徳劇の観点から見るファウスト・モティーフ  
—伝説発生からレッシング『断片ファウスト』まで—  
中西廉（ドイツ語圏言語文化学）
- ・中学英語につまずく生徒をどのようにサポートするか  
—英語の素地を作る効果的な活動の考察—  
油田 亜呼（言語応用学）

# 研究九フォーラム

2019

11月23日

12:30~14:30

※14:40~同会場にて大学院入試説明会を実施します。

大阪市立大学  
学術情報総合センター  
1 階文化交流室・ツクルマ

## ■お問い合わせ

大阪市立大学大学院文学研究科

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

TEL 06-6605-2351

## ■事前申し込み不要、参加費無料

<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/>